学校経営の理念

個のよさが 響き合い 輝く 相信相愛の明るい学校

~「かかわり」と「見届け」を基盤とした教育の実践~

令和2年度学校経営ビジョン

<u>石井十次先生の教え</u>が息づく地域の実態を踏まえ、<u>全職員が家庭・地域と連携を図り</u>ながら学校教育目標の具 現化に向けた組織として教育力を結集する。さらに、「かかわり」と「見届け」を基盤とした教育の実践に努め、 "個のよさが 響き合い 輝く 相信相愛の明るい学校づくり"を推進しながら、「生きて働く知識・技能」を習 得し、未知の状況にも対応する思考力や表現力等を身に付け、学びに向かう力・人間性を備えた健康で、笑顔と感 謝のあふれる明るい児童の育成を目指す。

学校の教育目標

進んで学び 心豊かで 元気な児童の育成

めざす学校像 めざす児童像 めざす教師像 めざす保護者像 〇明るく伸びゆく学校 ○進んで学ぶ子 ○教育に情熱を傾ける教師 〇子どもと共に学ぶ保護者 〇生き生きと活力ある学校 ○心豊かな子 ○指導力の向上に努める教師 ○厳しく躾けて育てる保護者 ○美しく花いっぱいの学校 〇元気な子 ○見つめ、褒め、励ます教師 ○心に寄り添い伸ばす保護者 標 重 点目 重点目標2 重点目標1 重点目標3 心の教育の充実 たくましい心身の育成 確かな学力の定着 重点目標4 学校・家庭・地域社会との連携

重点目標達成へ向けての実践事項

確かな学力の定着

- 〇 日常授業の工夫・改善
 - ★ 少人数を生かした「見届ける 指導(読解力を重点的に
 - 新学習指導要領に沿った主体 的・対話的な学びへの転換
- 複式解消と教師間の密な連携
- 基礎的・基本的学習内容の定着 「かがやきタイム」を活用
- 学力調査の問題分析と練習
- 〇 特別支援教育の充実

 - 外部関係機関等の積極的活用
- 一貫教育の推進と外部との連携
 - 穂北中、穂北小との連携
 - 大学や高等学校との連携

心の教育の充実

- 〇 「心のコップを上向き」の徹底
 - 姿勢を正す(立腰)
 - 笑顔でいる
 - プラスの言葉遣いをする
 - あいさつ(会釈)をする
 - くつをならべる
 - きな声での発表
- 〇 「午前中5時間授業」への適応
- 素早く、静かな行動・移動
- 〇 いじめのない学校づくり
 - :教師が全児童に「かかわる
 - 迅速な実態把握(心タイム)
- QUの効果的な活用
- 〇 規範意識・安全意識の向上
 - 登下校指導の徹底(集団登下校)
 - 交通安全及び防災教育の充実

たくましい心身の育成

- 〇 基礎体力の向上
 - 体力テストの結果を受けた指 導及び個別支援の充実
 - 生活の中でできる運動の推奨 (「ちょこっと運動」等)
- 昼休みの外遊びの奨励
- 〇 健康教育の充実
 - 基本的な生活習慣の定着 (「すくすくウィーク」の設定)
 - 立腰指導の徹底

 - 食育指導の推進
 - 性に関する指導の充実
- 〇 校内安全教育の充実

 - ケガの予防

学校・家庭・地域社会との連携

- 家庭及び友愛園における家庭学習の見届け(丸付け・励まし) みどりの少年団による地域への貢献(農村公園での花植え) 友愛園や地域との連携、地域の福祉施設(菜花園)や保育園との計画的な交流 (生活科、総合、クラブ活動、他)